

令和5年第1回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「新型コロナウイルス感染症の市の現状について」申し上げます。

市では「第8波」の対策として、市内医療機関が休診日や時間外に、臨時の発熱外来を行った際に、支援金を交付する事業を実施したところ、年末年始をはじめ市内の医療機関に協力をいただき、計111名の市民が休診日等に受診することができました。

特に北総白井病院では、市内クリニックの医師にもご協力いただき、毎週土曜日に臨時発熱外来を開設していただきました。

年末年始の大変お忙しい時期に、市民のため、発熱外来を実施していただいた医療機関の皆様には、心より感謝申し上げます。

市内の感染者数は、先月中旬より減少傾向にあり、先月末には、国において、感染症法上の取り扱いを5月8日から「2類相当」から「5類」へ移行する決定が出されました。

給食の黙食の見直しやマスク着用についても議論されるなど、少しずつ日常生活を取り戻しつつありますが、新型コロナウイルスがなくなるわけではなく、これからもウィズコロナとして、対策を継続していかなくてはなりません。

市民の皆様には、部屋の換気など引き続き基本的な感染対策をお願いしつつ、今後の国や県の動向を注視しながら、市民の皆様の安全を第一としたコロナ対策を展開してまいります。

次に、「企業誘致について」申し上げます。

市役所南側の市街化区域においてデータセンターの立地が予定されており、開発行為に向けた各種手続きが完了しましたので、今後、データセンターの建設に向けた工事等が始まります。

市としましても、引き続き、企業誘致により市内産業の振興を図り、活力あるまちづくりを進めてまいります。

最後に、「公立保育園における“おむつサブスク”の導入について」申し上げます。

“おむつサブスク”とは、使用量に関係なく定額を支払うことにより、おむつを直接、保育園に届けてくれるサービスで、今月から、3つの公立保育園で導入することといたしました。

これまで保護者がおこなっていたおむつの購入、記名、持ち込みの負担や保育士による個別のおむつ管理がなくなり、保護者と保育園、双方の負担が軽減でき、これにより、子どもと向き合う時間が増加することが期待されるものでございます。

なお、オムツの持ち帰りについては、保護者の負担軽減を図るため、公立保育園では既に各園での廃棄対応としております。

市としましては、引き続き、保育の質の向上や子どもの健やかな育ちを支援する取組を積極的に進めてまいります。

以上で諸般の報告を終わります。